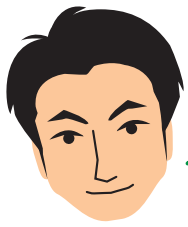
こども新聞
週刊かほピョンプレス
毎週日曜発行
2021 1/24
・河北新報社 TEL.022-211-1111（月曜から金曜）

きょうのテーマ



おりはらアドバイザーの
学ぼう防災 ⑨

断水時への備え 忘れずに

命に関わる「トイレ問題」

6400人以上が亡くなった阪神・淡路大震災が起こったのは、26年前の1995年1月17日でした。

全国から延べ130万人以上のボランティアが被災者支援に駆け付けたこの年は「ボランティア元年」と呼ばれ、1月17日は「防災とボランティアの日」と定められました。当時としては戦後最大の地震災害は、初めて体験するさまざまな課題が発生し、日本の災害対策を強化するきっかけとなりました。

この時起こった問題の中に「トイレ問題」があることを知っていますか？　95年は「災害トイレ元年」とも呼ばれます。

大きな災害が発生すると電気やガス、水道などの「ライフライン」がストップすることがあります。水洗トイレは断水すると流せません。

阪神大震災は、水洗トイレが家庭で当たり前になって、初めての大災害でした。家のトイレは使えない、避難所では仮設トイレが足りずに大混乱。「トイレパニック」が起こりました。人間は2～3時間に1度、1日に5回はトイレに行くとされます。おなかがすくよりトイレの我慢の方が難しいかもしれません。

安心してトイレに行けないと、なるべくトイレに行かなくてもいいよう、あまり食べたり飲んだりしなくなります。すると熱中症やエコノミークラス症候群などの病気になり、亡くなることもあるのです。

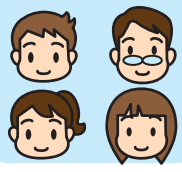
断水時に備え、家や避難先で、トイレができるように準備する必要があります。食料は蓄えていても、トイレのことは考えていない人が多いのではないでしょうか。命に関わる大きな問題です。風呂水のため置きや、1週間分の「災害用トイレ」の備蓄をしましょう。

（仙台市防災・減災アドバイザー・折腹久直）

★トイレの備えも1週間分!!

1人1日5回

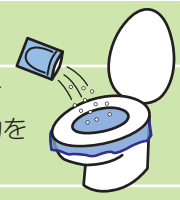
4人家族なら1日20回



7日分140回分備えましょう

★お店で買える「災害用トイレ」いろいろ

携帯トイレ



便器に袋を被せて凝固剤などで汚物を固めるタイプ

渋滞中の車内でも用を足せる場所を選ばない携帯タイプ

簡易トイレ

段ボールなどを素材とした組み立て式タイプ

2019年の台風19号災害でも仮設トイレが活躍した＝宮城県丸森町

みんな思い出
みんな言いたい
みんな知りたい
みんな守ろう
みんなトモダチ

今週の注目ニュース

25日（月）　石ノ森章太郎生誕記念日

1938年のこの日、漫画家石ノ森章太郎さんが宮城県で生まれたよ。「仮面ライダー」や「サイボーグ009」などで知られるね。ペンネームは古里の石森町（今の登米市中田町石森）から取ったんだ。

きょうの紙面

2面　みんなのギモンにこたえるモン
3面　3分チャレンジ
4・5面　いいね　小学校
6面　絵でわかる　こども英語
7面　投稿特集
8面　子育て・教育相談コーナー